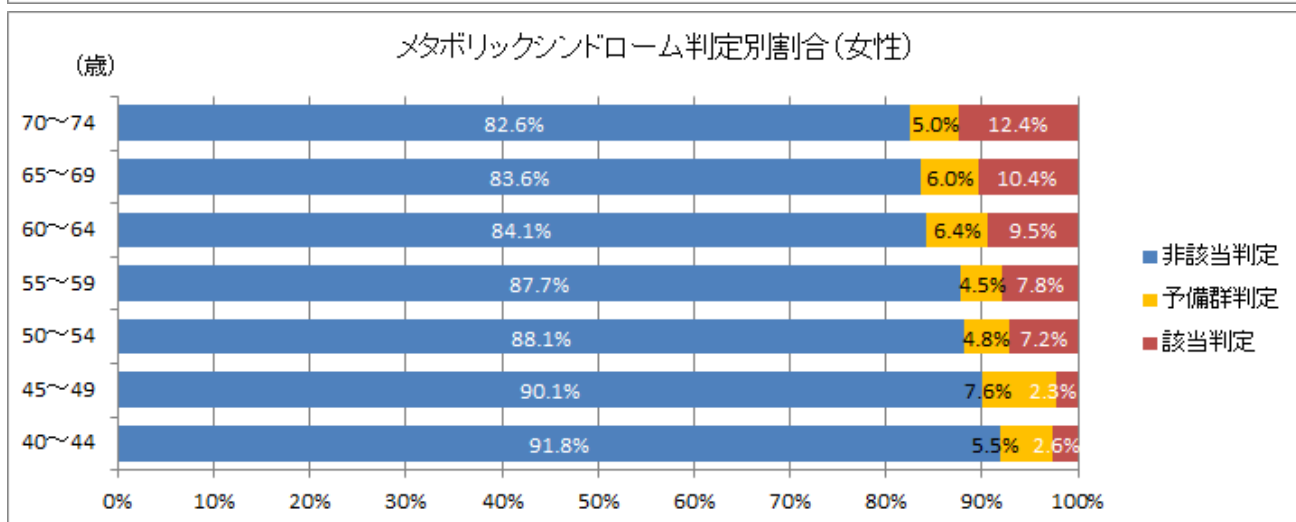
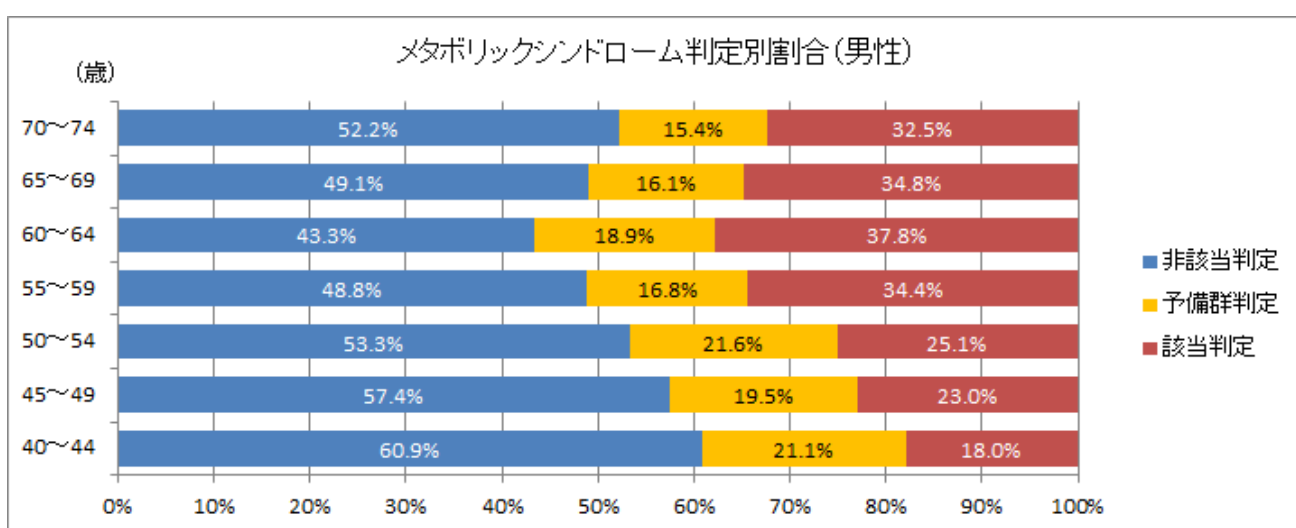


1. メタボリックシンドローム判定別割合

メタボリックシンドロームとは「内臓脂肪症候群」とも呼ばれ、内臓肥満に高血圧・高血糖・脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化症疾患をまねきやすい状態のこと。

メタボリックシンドロームの判定基準は、「腹囲」の基準値（男性 85cm 以上、女性 90cm 以上）に該当し、さらに「血糖値（高血糖）・高脂血症（脂質異常症）・高血圧」のうち 2 つ以上該当すればメタボリックシンドロームの「該当」、1 つの該当の場合は「予備群」と診断されます。メタボリックシンドロームの方は、「心筋梗塞（心臓病）・狭心症・脳梗塞（脳卒中）」などの病気を引き起こすリスクが健康な方に比べて高いと言われています。



(実施状況)

女性と比べると圧倒的に男性が「予備群判定」「該当判定」者が多く、約 2 人に 1 人が該当である。女性は年齢を重ねるごとに微増傾向である。